



# ROAD No.26

For Others, With Others

編集・発行：  
上智大学教育学科同窓会

## 2023年度 教育学科同窓会 会員大会 11月12日（日）に開催!!

- 講演会・会員大会 …… 午後1時～午後2時30分（午後0時30分 受付開始）
- 懇親会 …… 午後2時45分～4時30分
- 会場 …… ソフィアズクラブ（ソフィアタワー・6号館6F）
- 懇親会費 …… 3,000円（現役生は無料）※ 当日受付でお支払いください。

新型コロナウイルス国内初の感染者が確認されたのは、二〇二〇年一月一日でした。二月五日には大型客船ダイヤモンド・プリンセスで乗客乗員の感染が確認され、その後大規模イベントの自粛要請、学校への臨時休校要請、東京五輪・パラリンピックの延期決定、そして緊急事態宣言と続きました。

あれから三年半が経過しました。現在は第九波にあるとも言われていますが、教育学科同窓会は会員大会を開催して活動を再開します。長く休止状態に留まりましたことをお詫びいたします。

今回は教育学科長・奈須正裕先生をお迎えすることができましたが、講演会ではなく、コロナウイルスに悩まされてきた中での教育学科の具体的な取組や学生の様子などを先生に伺う形で進行する予定です。聞き手は、大学の特任教員（教職課程）である同窓会役員・栗原（一九八二年卒）が務めます。

二〇二二年度 会員大会 トークイベント  
「コロナ禍を経て、いま教育学科は（仮題）」  
— 学科長の奈須正裕先生をお迎えして —

新  
型  
コ  
ロ  
ナ  
ウ  
イ  
ル  
ス  
国  
内  
初  
の  
感  
染  
者  
が  
確  
認  
さ  
れ  
た  
の  
は  
、  
二  
〇  
二  
〇  
年  
一  
月  
一  
日  
で  
し  
た  
。二  
月  
五  
日  
に  
は  
大  
型  
客  
船  
ダ  
イ  
ア  
モ  
ン  
ド  
・  
プ  
リ  
ン  
セ  
ス  
で  
乗  
客  
乗  
員  
の  
感  
染  
が  
確  
認  
さ  
れ  
、  
そ  
の  
後  
大  
規  
模  
イ  
ベ  
ン  
ト  
の  
自  
粛  
要  
請  
、  
学  
校  
へ  
の  
臨  
時  
休  
校  
要  
請  
、  
東  
京  
五  
輪  
・  
パ  
ラ  
リ  
ン  
ピ  
ッ  
ク  
の  
延  
期  
決  
定  
、  
そ  
し  
て  
緊  
急  
事  
態  
宣  
言  
と  
続  
き  
ま  
し  
た  
。

あ  
れ  
か  
ら  
三  
年  
半  
が  
経  
過  
し  
ま  
し  
た  
。現  
在  
は  
第  
九  
波  
に  
あ  
る  
と  
も  
言  
わ  
れ  
て  
い  
ま  
す  
が  
、教  
育  
学  
科  
同  
窓  
会  
は  
会  
員  
大  
会  
を  
開  
催  
し  
て  
活  
動  
を  
再  
開  
し  
ま  
す  
。長  
く  
休  
止  
状  
態  
に  
留  
ま  
り  
ま  
し  
た  
こ  
と  
を  
お  
詫  
び  
い  
た  
し  
ま  
す  
。

今  
回  
は  
教  
育  
学  
科  
長  
・  
奈  
須  
正  
裕  
先  
生  
を  
お  
迎  
え  
す  
る  
こ  
と  
が  
で  
き  
ま  
し  
た  
が  
、講  
演  
会  
で  
は  
な  
く  
、コ  
ロ  
ナ  
ウ  
イ  
ル  
ス  
に  
悩  
ま  
さ  
れ  
て  
き  
た  
中  
で  
の  
教  
育  
学  
科  
の  
具  
体  
的  
な  
取  
組  
や  
学  
生  
の  
様  
子  
な  
ど  
を  
先  
生  
に  
伺  
う  
形  
で  
進  
行  
す  
る  
予  
定  
で  
す  
。聞  
き  
手  
は  
、大  
学  
の  
特  
任  
教  
員  
（教  
職  
課  
程）  
で  
あ  
る  
同  
窓  
会  
役  
員  
・  
栗  
原  
（一  
九  
八  
二  
年  
卒）  
が  
務  
め  
ま  
す  
。



会  
員  
の  
皆  
さ  
ん  
は  
、「上  
智  
大  
学  
通  
信」  
や  
「ソ  
フィ  
ア  
ン  
ズ  
ナ  
ウ」  
あ  
る  
い  
は  
H  
P  
で  
大  
学  
の  
状  
況  
を  
把  
握  
、学  
生  
の  
学  
修  
や  
生  
活  
を  
心  
配  
な  
さ  
っ  
て  
き  
た  
か  
と  
思  
い  
ま  
す  
。

実  
際  
、二  
〇  
二  
〇  
年  
三  
月  
の  
学  
位  
授  
与  
式  
の  
中  
止  
に  
始  
ま  
り  
、二  
〇  
二  
〇  
年  
度  
は  
春  
学  
期  
の  
授  
業  
開  
始  
を  
大  
幅  
に  
繰  
り  
下  
げ  
、秋  
学  
期  
ま  
で  
全  
て  
が  
オ  
ン  
ラ  
イ  
ン  
授  
業  
に  
な  
り  
ま  
し  
た  
。二  
〇  
二  
一  
年  
度  
は  
キ  
ャ  
ン  
パ  
ス  
に  
学  
生  
が  
戻  
っ  
て  
き  
ま  
し  
た  
が  
、授  
業  
は  
ハ  
イ  
フ  
レ  
ッ  
ク  
ス  
で  
の  
展  
開  
と  
な  
り  
、教  
え  
る  
側  
に  
も  
学  
ぶ  
側  
に  
も  
不  
自  
由  
さ  
は  
残  
っ  
た  
よ  
う  
で  
す  
。

こ  
の  
あ  
た  
り  
の  
状  
況  
を  
奈  
須  
先  
生  
に  
は  
「コ  
ロ  
ナ  
シ  
ョ  
ッ  
ク  
下  
の  
教  
育  
学  
科」と  
し  
て  
寄  
稿  
し  
て  
い  
た  
だ  
き  
、学  
生  
の  
本  
音  
は  
大  
学  
院  
在  
学  
中  
の  
清  
水

### 【参加ご連絡のお願い】

「講演会／会員大会・懇親会」への参加をご希望の方は、お名前と卒年を添えて、(1) 講演会／会員大会・懇親会の両方、(2) 会員大会のみ、(3) 懇親会のみを明記して以下までご連絡ください。

1. HP の連絡フォーム（お勧め：右の二次元バーコードから！）  
： <https://www.sophia-education-alumni.com/contact>
2. メール： [sophia.education.alumni@gmail.com](mailto:sophia.education.alumni@gmail.com)
3. FAX： 03-3238-3980



真生さん（二〇二二年卒）に伺っています。（三ページをお読みください）なお、奈須先生は第一二期中央教育審議会委員であり、初等中等教育分科会では分科会会長代理をお務めになつています。今期中教審には大きな注目が集まっており、中心メンバーとして活動なさっている先生からは貴重なお話がいただけるかもしれません。

# 「少年院の実態や少年たちとの交流・更生の様子を通して思うこと」・現場ひと筋二五年 少年院の実情・少年犯罪の変化・

講師 細川 英志さん（法務省 少年院法務教官）一九九二年卒

二〇一九年十一月九日（土）に、二〇一九年度の教育学科同窓会

会員大会が、新ソフィアンズクラブで開催されました。講演会の講師には、少年院法務教官として長年少年たちの指導にあたってきた細川英志さんをお迎えしました。細川さんは、これまで北は栃木から南は大分まで六ヶ所の少年院で、法務教官として勤務をされてこられました。日頃、なかなか接点を持ちにくい少年院の実態、そして少年たちとの交流や更生へのプロセスなどに至るまで、現場で長く勤務をされてきたからこそ語るここのでできる内



自己紹介をする細川さん

容に大きな期待を寄せながら、講演をお聞きしました。

まず冒頭、少年院は、「少年法第二十四条第一項第三号」の規定により「保護処分を執行を行う場所」と規定されており、刑罰を行う場所ではなくあくまでも教育の場であって、明確な刑期はないものの、教育（更生）が進まないという所できない仕組みになっており、その根拠は「少年院法」に求めることができるというところから話は始まりました。犯罪白書（平成二七年度統計）によれば、少年院への送致人数は年間で二七〇〇名程、また平成三一年度ではそれが二一〇〇名程にまで減少しているとのことで、犯罪発生数の低年齢化といった問題はあるものの犯罪件数そのものは、全国的には減少傾向にあるそうです。

また少年院は教育施設であることから、次のような五つの矯正教育に向けた分野があると話が続きます。①生活指導（集団生活や特定生活指導の実施）、②職業

指導（職業意識の涵養や資格取得に向けた支援）、③教科指導（基礎学力の習得・向上）、④体育指導（健全な心身の育成）、⑤特別活動指導（自主自律・協同の精神の育成）がそれに該当し、中でも出

所後に就労ができるよう資格取得の支援などを行い、少年たちに成功体験を積ませることで、それを次へのモチベーションとしていくことこそが、少年院の教育施設としての側面であると強調されました。単に社会復帰を支援するだけではなく、就労支援を行うにつつ、年齢によっては就学支援をも視野に入れながら、時には保護者への協力を依頼し、児童相談所などをはじめとした関係諸機関との連携も模索していく。こうした話から、少年院の担う役割の広さを改めて窺い知ることができました。

次に昨今、少年院に送致されてくる少年たちの特徴へと話は進んでいきます。現在、細川さんが勤務されている少年院（茨城県水

戸市南部にある水府学院）においても、以前は、窃盗や道路交通法違反などで占められていた入所事由が、最近では特殊詐欺（いわゆる振り込め詐欺など）の犯罪に末端で受け子として関わった少年らの増加が顕著であるとされ、また薬物関連の犯罪についても、かつては覚せい剤やシンナーといった類のものが多かったのに対し、最近では、危険ドラッグや大麻などの所持や使用を事由とした入所が、増加傾向にあるとのことでした。さらなる法規制や刑事罰の厳罰化、また警察による取り締まり強化などにより、それでも犯罪の発生率は、全国的には減少傾向にあるそうです。またかつては、一人になること、孤独と向き合い個室で過ごすことを嫌っていた少年たちも、最近ではむしろ個室での生活を望む傾向が高いこと、入所前は、人のものを奪ってでも食べたいという気持ちの強かった少年たちが、最近では、そうした食べ物に対する執着心すら減少していることに、少年たちの内面的変化を見てとることができるとされました。SNSなどのコミュニケーションツールが進歩した近年では、入所中に互いに自分の個人情報教え合うことで、出所後もつながり続けると

いうのも、ここ最近の新たな傾向であるとの分析を示されました。政府の目指すところは再犯率の減少であり、それを達成するためには、それに見合った少年院出所後のサポート体制の充実が伴わなくてはならないと、細川さんは力説されます。出所後に十分な就労や就学機会に恵まれないければ、そのことが再犯へとつながってしまう可能性があるためです。



真摯な表情の長尾会長

最後に質疑応答の中で、質問者への答えとして、「どんな子どもも、少年院を出ていく時の表情は（入所してきた時とは）変わっているとと思うし、そのまま社会で過ごしていったら欲しいと願っている。（少年院法務教官という仕事は）子どもたちの可能性を信じる仕事なのだと思う。」と心の内を述べられ、まとめとされました。頭の中に新たな認識が生まれたような、とても印象的なご講演でした。

（文責・黒木健）

# コロナショック下の教育学科

教育学科長 奈須 正裕

コロナショックは、二〇二〇年三月の卒業式中止を皮切りに、大学の日常にも大きな影響を与えました。二〇二〇年度に入ると、入学式、そして上智の伝統であり、すべての同窓生に忘れがたい思い出を生み出してきたオリエンテーション・キャンパスも中止となります。

授業については、教員と学生の距離の近さを大切に上智らしく、開始を五月二十五日まで遅らせて対面での実施を目指しましたが、残念ながら結果的にフル・リモートとなりました。教育学科では、専任教員が担当し受講者もはつきりしている三年、四年のゼミ等について、学生とも相談の上、四月当初からの独自開講に踏み切ることで、学びを保障すると共に、大学と学生、学生相互のつながりの確保に努めました。その後ほぼ二年間、リモートでの授業が中心となり、サークル活動や行事なども大幅に制限され、キャンパスは閑散としていました。

重苦しい空気が支配的な時期でしたが、教育学科には明るい話題もありました。二〇二〇年三月に退任された加藤守通先生の後任として、四月に鈴木宏先生が教育哲学担当の准教授として着任されたのです。鈴木先生は教育学科の卒業生で、大学院教育学専攻の博士前期・後期課程を経て上智で博士号を取得された、生粋のソフィアンです。



鈴木准教授

指導教員は増淵先生と加藤先生で、一貫して教育学の視点からカント哲学を探究し、ドイツへの留学も果たされました。近年は、平和の教育学という上智のミッションにも合致したテーマで新たな地平を切り拓いておられ、学会等でも若手のホープとして将

来を嘱望されています。着任早々のコロナショックで大変だったと思いますが、その懇切で的確な指導は学生からの信頼もあつく、ゼミ生も着実に増えています。

## では、学生は？

清水真生さん(二〇二三年卒、教育学専攻博士前期課程二年)にお聞きしました

「清水さんは二〇一八年入学ですね。オリキャンの印象、感想を教えてください。」

履修登録の仕方や教職課程の履修の仕方を丁寧に説明してくださったので有難かったですね。また、オリエンテーション・キャンパスで学科の仲間の名前を覚えたり友達を作ったりしたため、その後の入学式や授業が安心して受けられたことを覚えています。

「先輩、クラスメート、教育学科での学びは充実していましたか。友達と一緒に授業を受けたり、空きコマに出かけたり、課題に取り組んだり仲間と共に学べたため楽しかった印象が残っています。ヘルパーの先輩方は定期的にイベントを行ってください、そこで友達を増やしたり、授業の内容を相談したりしていました。」

「そして、二〇二〇年(三年生)には大きな変化が起きましたね。全ての授業がZoomか、オンデマンドに変わりました。春学期の授業では、毎回のリアクションペーパーや課題の量が対面の時より多くなったため、慣れない授業形態と合わせて正直苦しかったです。また、友人とも会えず孤立している感覚に陥り、学ぶモチベーションも低くなり、集中力も落ちましたように思います。」

「二〇二一年になり、授業はどれも元に戻ったのでしょ。」

授業時間に大学に足を運んだのは「教育哲学演習Ⅲ(ゼミ)」「博物館実習Ⅰ・Ⅱ」のみでした。「教育哲学Ⅳ(ゼミ)」は卒論執筆のため、不定期に大学へ足を運び個人指導していただきました。このように大学に通う授業が少なかったため、一・二年生の時のような通常の授業に戻ったという感覚はありませんでした。

「オンラインと対面、学びの違いを、どのように捉えていますか。」

ゼミのような話し合いの授業ではオンラインよりも対面の方が深められると思いました。オンラインの場合、基本的に音声はオフのために声を出すまでに勇気がいるので、ゼミにはあまり向いていないように感じられました。

対面ではボディランゲージがあり、感情も感じ取れることから、議論しやすいと思います。

一方、オンラインでの大人数での講義では、周囲の話し声がないため集中しやすいという利点があります。ただ、慣れてくると緊張感がなくなり集中力を保つことが難しいという点もあります。(文責・栗原峰夫)

## 訃報

豊田勝弘さん(同窓会第三代会長)

長く同窓会に携わり、後輩を応援し続けてくださった豊田勝弘さん(一九六四年卒)が二〇二二年八月十一日にご逝去されました。葬儀には高祖先生がご臨席になり、同窓会から赤松副会長が伺い、御花を送らせていただきました。

太田尚子さん(同窓会役員)

現在の役員会を支えてくださってきた太田尚子さん(一九七八年卒)が二〇二〇年一月二〇日に急逝されました。謹んで感謝と弔意を表させていただきます。





## ◇◇「上智大学教育学科同窓会」 役員一覧 ◇◇

《2021年6月1日～2024年5月31日》

- 会長 : 長尾 和洋(1986)
- 副会長 : 神林 達郎(1983)、赤松 加奈子(1987)
- 役員 : 伊藤 奈美予(1977)、栗原 峰夫(1982)、栗原 明子(1985)、片桐 智樹(1991)、黒木 健(1993)
- 監事 : 手島 美智子(1978)

※ 以上、会長、副会長(2名)、一般役員(5名)、監事が、定例の運営メンバーとなります。新規役員絶賛募集中です!!

上智大学教育学科同窓会 2019年度～2022年度 会計報告			
(令和元年6月1日～令和5年5月31日) (単位:円)			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	1,523,678	事務局運営費	
会費		振込手数料	330
終身会費:銀行振込	170,000	会議費	800
同窓会参加費	81,000	インターネットプロバイダ	54,000
銀行利息		会員大会関連	
三井住友銀行	9	講師謝礼	10,076
ソフィア会支援金		懇親会費	63,850
HP運営費用(3年分)	40,500	会報関連費	
小計	291,509	ROAD印刷代	18,260
		発送用ラベル他	6,902
		輸送交通費	1,130
		送料	171,708
		慶弔費	
		卒業祝(シャープ)	101,677
		小計	428,733
		繰越金	1,386,454
合計	1,815,187	合計	1,815,187

上記の通り令和元年度～令和4年度の会計を報告いたします。  
 令和5年8月12日 会計担当:伊藤 奈美子  
 上記の会計報告を監査した結果、正確かつ適正であることを認めます。  
 令和5年8月12日 監事:手島 美智子

◇ 会員大会・アジエンダ ◇  
 (二〇二三年十一月十二日(日))  
 十四時十五分～十四時三〇分  
 記  
 一 開会宣言  
 二 活動報告(長尾会長)  
 三 会計報告(会計委員会・伊藤)  
 四 会計監査報告(監事・手島)  
 五 閉会宣言  
 以上

「上智大学教育学科同窓会」活動報告  
 (2019年度～2022年度)  
 コロナ渦にあった3年間は、会員大会の実施ができませんでした。以下、役員会の実施報告となります。  
 記  
 ① 2019年7月13日(土)15:00～17:30  
 ② 2019年9月21日(土)16:20～17:30  
 ③ 2023年5月13日(土)15:00～17:00

## ☆☆「同窓会終身会費」納入のお願い ☆☆

教育学科同窓会の各種活動(会報誌「ROAD」の製作・発送、会員大会の企画・運営他)は、全て同窓会会員の皆さまの「終身会費:10,000円」のみに依拠しています。2023年9月1日現在、住所の判明している同窓生のうち約31%の皆さまには会費の納入をいただいておりますが、会計報告の通り毎年の繰越金も心許ない状況です。より一層多くの皆さまのご協力をお願いする次第です。

- 振込先① : 三井住友銀行 三鷹支店 普通 7147840
- 振込先② : ゆうちょ銀行 店番 018 普通 1626482

- ✓ 名義はいずれも、「上智大学教育学科同窓会」です。
- ✓ 振込ご依頼人の前に、「卒年」を西暦2桁で付けてください。(例: 86 ナガオカズヒロ)

上智大学教育学科同窓会報 **ROAD** 第26号  
 発行: 上智大学教育学科同窓会 責任者: 会長 長尾 和洋  
 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1  
 上智大学総合人間科学部事務室内  
 TEL: 03-3238-3650 FAX: 03-3238-3980  
 ホームページ: <https://www.sophia-education-alumni.com/>  
 Facebookでも最新の活動をお知らせしています!

**【 WANTED! 】**  
 ✓ お知り合いの同窓生に、「ROADが届かなくなった。」「そもそも届いていない。」等の方はいらっしゃいませんか?  
 ✓ 同窓会ホームページの「コンタクト・ページ」経由、または [sophia.education.alumni@gmail.com](mailto:sophia.education.alumni@gmail.com) まで、お名前(含旧姓)・ご住所・卒年をお知らせいただくよう、是非お伝えください。